

教 育 研 究 業 績

2022年5月1日

氏名 根津 克己

学位 修士(心理学)

研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
心理学	認知行動療法、カウンセリング、学生相談、産業カウンセリング	
主要担当授業科目	臨床心理学概論、心理学的支援法(心理療法C)、産業臨床心理学演習	
教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 授業内容その他をホームページで公開	2006年4月～	講義で用いたスライド、配布物、講義を補足する情報などをインターネット・ホームページにて逐次公開
2 作成した教科書・教材 はじめて学ぶ人の臨床心理学	2003年4月	杉原一昭(監修)、渡邊映子、勝倉孝治(編集)中央法規出版。臨床心理学の初学者のための入門書で、参考図書として使用している。 「現場で生きる臨床心理学」の章のうち「産業」の項など担当。臨床心理学が応用される現場のうち、産業場面における心理士の役割などについてまとめた。
3 教育上の能力に関する大学等の評価 2011年度授業アンケート 2013年度授業アンケート 2015年度授業アンケート 2017年度前期授業アンケート 2017年度後期授業アンケート 2018年度前期授業アンケート 2019年度前期授業アンケート 2019年度後期授業アンケート 2020年度前期授業アンケート	2012年7月 2014年6月 2016年8月 2017年12月 2018年3月 2019年3月 2019年9月 2020年3月 2020年10月	学生対象の授業評価アンケートにて、いずれも概ね高い評価を得られた
4 実務の経験を有する者についての特記事項 東京成徳大学八千代キャンパス 学生相談室相談員 東京成徳大学大学院付属心理 教育相談センター所員 東京成徳大学十条台キャンパス 学生相談室相談員	2002年4月～ 2019年3月 2006年4月～ 2016年4月～	学内学生相談室におけるカウンセリングその他の活動 (2011年4月～2012年3月 学生相談室長) (2012年4月～2019年3月 学生相談室副室長) 大学院附属の相談室における活動 学内学生相談室におけるカウンセリングその他の活動 (2019年4月～ 学生相談室副室長)
5 所属学会・団体 日本心理臨床学会 会員 日本産業ストレス学会 会員 日本健康心理士学会 会員 日本学生相談学会会員	2002年4月～	

日本認知療法・認知行動療法学会会員 日本学生相談学会 会員 日本臨床心理士会 会員 日本産業カウンセラー協会 会員 千葉県臨床心理士会 会員		(旧称: 日本認知療法学会) 代議員(2017年度～2021年度)
5 その他		
職 務 上 の 実 績 に 関 する 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許 シニア産業カウンセラー 臨床心理士 公認心理師	2003年4月 2004年4月 2019年2月	(一社)日本産業カウンセラー協会認定 (財)日本臨床心理士資格認定協会認定 11953号
2. 特許等 なし		
3. 実務の経験を有する者についての 特記事項 東京成徳大学 心理福祉相談室相談員 緑ヶ丘クリニック(八千代市) 東京成徳大学大学院心理教育相談 センター所員	2002年4月～ 2019年3月 2003年10月～ 2004年6月 2006年4月～	地域住民のためのカウンセリング活動 心療内科クリニックにて初診患者の問診、カウンセリング 大学院に附属の相談室における活動(前掲)
4. その他 (一社)日本産業カウンセラー協会 シニアコース講座講師 (一社)日本産業カウンセラー協会 東関東支部会員研修講師 厚生労働省主幹技能検定 指定試験機関 技能検定委員	2010年8月 2013年6月 2014年6月 2015年6月 2016年11月 2013年6月～	シニアコース講座のうち、科目名「リサーチ」を担当 同上 「認知行動療法テクニック入門 一問題解決療法編一」講師 同上 同上 技能試験の検定委員

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
(著書) 1. はじめて学ぶ人の臨床 心理学(再掲)	分担 執筆	2003年04月	中央法規出版	臨床心理学の入門書。臨床心理学の歴史や諸理論、技法、応用分野などを解説している。 第8章「現場で生きる臨床心理学」のうち、「産業」の項(p246～250)、「心の理論」(p196)執筆。 杉原一昭(監修)、渡邊映子、勝倉孝治(編著)
2. カウンセリング心理学事 典	分担 執筆	2008年11月	誠信書房	第4章「産業カウンセリング」の「5. ストレス・マネジメント」の項担当。ストレスの認知モデルとそれに対するカウンセラーの果たす役割について述べた。 國分 康孝(監修) 他多数
3. カウンセリングのすべて がわかる -カウンセラ	分担 執筆	2010年12月	技術評論社	「産業領域におけるカウンセリングってどんなものですか？」など、産業領域に関する

一が答える本当の心理学-				3項目を執筆 石村郁夫, 羽鳥健司, 浅野憲一(編著)
(学術論文)				
1. コンピュータ技術者のストレス要因 一回避性人格傾向との関連一	共著	2003 年 03 月	東京成徳大学臨床心理学研究 3, 30-42.	コンピュータソフトウェア開発に従事する者のストレスの要因として、人格の回避傾向との関連を検討した。その結果、この人格傾向は、ストレス反応に直接影響を与えるだけでなく、ストレス緩和要因である、ソーシャルサポートの知覚を低下させ、その結果ストレス反応を強くする可能性があることを示した。 <u>根津克己</u> 、 <u>勝倉孝治</u> 共著
2. 地域福祉における行政機関と高等教育機関の協働事業に関する実践研究	共著	2008 年 03 月	東京成徳大学人文学部研究紀要, 15, 75-86.	大学と自治体の協働による、「子ども電話相談」の実践研究。相談を担当する学生の研修、指導、自治体との調整などを担当。 石田祥代、伊藤栄治、今中博章、鎌田大輔、西村昭徳、 <u>根津克己</u> 、 <u>羽鳥健司</u> 、半田勝久 共著
3. 管理職・非管理職ごとのパーソナリティとストレス度の関連	共著	2009 年 03 月	東京成徳大学臨床心理学研究 9, 94-99.	企業における勤労者のストレスのストレスチェックに貢献するための研究。職位(管理職一非管理職)、エゴグラムによるパーソナリティと、ストレス反応(抑うつ度)の関連を検討した。 <u>根津克己</u> 、 <u>勝倉孝治</u> 、 <u>樺沢敏紀</u> 、 <u>朝木永</u> 、 <u>屋良剣吾</u>
4. 大学生用就職面接不安尺度の作成の試み	共著	2014 年 03 月	東京成徳大学臨床心理学研究 14, 65-71	大学生が就職活動における面接に対して感じる不安を測定する尺度を作成した。 <u>飯尾 和高</u> 、 <u>根津 克己</u>
5. “新型うつ”に関する国内文献レビュー	共著	2014 年 03 月	東京成徳大学大学院心理学研究科臨床心理学研究 14, 161-168,	いわゆる「新型うつ病」に関する、医療、心理学の分野での文献のレビューを行った。 <u>関陽一</u> 、 <u>根津克己</u>
6. 新型うつ”性格傾向と抑うつの関連についての心理学的考察 ～ストレス対処能力(Sense of Coherence; SOC)に焦点をあてて	共著	2015 年 03 月	東京成徳大学大学院心理学研究科臨床心理学研究 15, 9-18.	いわゆる「新型うつ病」になりやすいとされる性格傾向を実証的に示し、そうした傾向と抑うつ、SOCとの関連を示した。 <u>関陽一</u> ・ <u>根津克己</u>
7. スクールカウンセラーの抱えるストレスがストレス反応に与える影響 一サポートに着目して一	共著	2015 年 03 月	東京成徳大学大学院心理学研究科臨床心理学研究 15, 93-102.	現職のスクールカウンセラーのストレス関連の問題の発生機序を量的、質的な方法により明らかにした。 <u>清田阜月</u> 、 <u>根津克己</u>
8. 関係に特有な内的作業モデルの形成要因についての検討	共著	2016 年 03 月	東京成徳大学大学院心理学研究科臨床心理学研究 16, 86-95.	関係に特有な内的作業モデルについて、その形成要因の検討を他者からの応答に関する認知に着目して行った。 <u>岩瀬 ひと美</u> 、 <u>根津克己</u>

9.	完全主義と評価懸念が先延ばし意識過程に及ぼす影響	共著	2016 年 03 月	東京成徳大学大学院心理科学研究科臨床心理学研究, 16, 96-103.	課題に対する先延ばしから課題着手に至るまでの心理的過程に完全主義傾向、評価懸念が与える影響を検討した。 劔持 裕紀、根津克己
10.	膠原病患者へのサポート・グループの展開：グループ構造の観点からの検討	共著	2016 年 03 月	東京成徳大学大学院心理科学研究科臨床心理学研究, 16, 163-172.	第 1 著者が主宰する膠原病患者を対象としたサポート・グループの検討を行った。 大河内 範子、高松 里、根津 克己
11.	メタ認知的信念が過剰適応者の反すうに与える影響	共著	2017 年 03 月	東京成徳大学大学院心理科学研究科臨床心理学研究, 17	過剰適応傾向と、認知的反すうに対するメタ認知的信念が精神的健康に与える影響を検討した。 武田恒平、根津 克己
12.	過剰適応者の反すうに対するメタ認知療法的介入の検討	共著	2018 年 03 月	東京成徳大学大学院心理科学研究科臨床心理学研究, 18	過剰適応者の適応的な側面を残しつつ、不適応を促す反すうに対して介入することによって、精神的健康を維持することを目的とした実験的研究。 武田恒平、根津 克己
13.	大学生における対人ストレス過程の検討 — 自己価値と回避型コーピングの用いられ方に着目して—	共著	2019 年 03 月	東京成徳大学大学院心理科学研究科臨床心理学研究, 19	大学生の対人ストレスのプロセスについて、特に回避型コーピングの使われ方と自己価値の関連について明らかにした実証的研究。 相馬 亜衣、根津 克己
14.	父親の情動表現が子どものアタッチメント行動特徴に及ぼす影響	共著	2019 年 03 月	東京成徳大学大学院心理科学研究科臨床心理学研究, 19	子どものアタッチメント行動について、父親の情動表現の影響を検討した実証的研究。 島崎 姫乃、根津 克己
(学会発表)					
1.	大学院における教育研修を考える1 — 大学院生、修了生のアンケート調査をもとに—	共著	2008 年 09 月	日本心理臨床学会第 27 回大会 (つくば学院大学)	大学院における心理臨床教育のあり方を検討した研究。大学院生および、修了生に対するアンケートを元に検討を行った。 青木佐奈枝、堀江姿帆、飯田順子、井上忠典、勝倉孝治、根津克己、増田實
2.	管理職・非管理職ごとのパーソナリティとストレス度の関連	共著	2008 年 10 月	日本産業カウンセリング学会第 13 回大会 (立正大学)	企業における勤労者のストレスのストレスチェックに貢献するための研究。職位(管理職—非管理職)、エゴグラムによるパーソナリティと、ストレス反応(抑うつ度)の関連を検討した。 根津克己、勝倉孝治、樺沢敏紀、朝木永、屋良剣吾
3.	臨床心理実習のケース担当における学生の変化過程	共著	2010 年 09 月	日本心理臨床学会第 29 回秋季大会 (東北大学)	臨床心理学専攻の大学院生の変化過程を、学内における臨床実習の経験の観点から研究した。青木佐奈枝、井上忠典、根津克己
4.	学生の困り感に対する援助モデルの作成および援助活動報告	共著	2014 年 09 月	日本学校心理学会第 16 回大会(玉川大学)	学生の多様な援助ニーズの実態把握およびスクリーニングを行い、大学生の援助ニーズを踏まえた大学における援助モデルを作成した。 田村節子、渡部雪子、菊池春樹、新井邦

5. スクールカウンセラーの ストレス過程-サポート に着目して-	共著	2016 年 01 月	日本学校メンタルヘルス 学会第 19 回大会(立正 大学)	二郎, <u>根津克己</u> , 西村昭徳 清田臯月, <u>根津克己</u>
(その他)				
1. 東京成徳大学生の精神 的健康に関する研究	共著	2005 年 03 月	平成 16 年度東京成徳大 学学内プロジェクト報告	大学新入生における精神健康度調査の 継続調査とその後の大学への適応との関 連の調査研究。調査の実施とデータの集 計、解析を担当 渡邊映子、宮本文雄、朝木永、 <u>根津克 己</u> 、荒井崇史
2. 電話相談に相談員とし て関わる大学生の心理 的成長	単著	2006 年 03 月	「八千代市『おにいさんお ねえさん』電話相談の運 営に関する研究報告書 ～八千代市と東京成徳大 学の協働の意義と成果 ～』 東京成徳大学八千代市 「おにいさん・おねえさん 子ども電話相談室」運営 に関する研究プロジェクト 委員会	大学と自治体の協働による、「子ども電話 相談」の活動報告所収。相談員としての活 動を通して学生の成長を、①対人(対自も 含む)信頼感、②オープナー度(他者から の開示の受けやすさ)、③社会スキルの3 点から検討した。
3. 「職場のリーダーの心 理学」連載	単著	2008 年 01 月	安全と健康 中央労働災害防止協会	企業や各種団体の安全管理者向けの月 刊誌。「職場のリーダーの心理学」のタイ トルで連載(全 12 回)
4. 最近の新入社員の特 徴、傾向	単著	2009 年 04 月	心とからだのオアシス 中央労働災害防止協会	勤労者向けの健康と安全をテーマとした 季刊誌。2009 年春号「特集・新入社員 のメンタルサポート」のうち、巻頭の総論を 担当
5. ボランティア体験に根ざ した学生育成と地域連 携に関するプロジェクト 報告書	共著	2010 年 01 月	東京成徳大学ボラプロ ジェクト編集委員会	学内プロジェクトに関する報告書。「八千代 市おにいさんおねえさん電話相談」に関 する章を担当